

(^o^*) 余談太郎

2021年 土用の丑の日



毎年、日にちが変動する「土用の丑の日」。

今年の丑の日は、1/17、1/29、4/23、
残すは7/28、10/20、11/1が該当するようです。

が、馴染みのある「丑の日」はやはり夏ですよ。

土用とは、「季節の変わり目の約18日間」のこと。夏だけではなく、立春・立夏・立秋・立冬の直前に年4回あるようです。

古代中国に、「この世のすべては、木・火・土・金・水の5つの要素でできている」と考える五行思想があり、「春はぐんぐん育つ木」「夏は燃える火」「秋は実りの金」「冬はシンと静かな水」…と、イメージを四季に当てはめていくと、土がひとつ余ります。

そこで「土」は、種をたくわえ、芽を出させるという土の働き(土用)に着目して、4分割して割り振られたそうです。

運気が変化する時期ということで、この日は、体をいたわり精が付くものを食べることが行われてきたようです。このうなぎを食べると元気が出るという文化は「土用の丑の日」が広まる前からあったそうで、昔の人は、季節の変わり目が気を付けるべき時期であることを経験的に知っていたのでしょうね。

さて、28日、ちょっと奮発してみましようか。

